

予防接種健康被害救済制度

申請への3ステップ！

申請への手順は、簡単に3ステップ！

これは国の制度です

ステップ1

接種した自治体へまず相談

鎌倉市ワクチン接種
担当にご相談下さい

ステップ2

書類を書く！必要書類を集める！（自分で書くのは2〜3枚）

ステップ3

接種した自治体へ提出！！

接種後原因不明の
突然死・癌・体調不
良は申請を！



予防接種健康被害救済制度

予防接種後体調不良を起こしたり、そのままお亡くなりになってしまったなど、そんな
ことでお困りの方はいませんか？

この制度は、そんな方々への救済制度です。

某自治体のデータでは、副反応疑い報告制度により国に報告された方の数は、1000人を
超えています。予防接種健康被害救済制度への申請は、170件とほとんど、申請されて
いません。

医師が副反応を認めているのに、申請ができることを知らない方が多いということだ
接種後の健康被害の状態、住所、お名前、被害を受けたと思われる接種を受けた時の住
所、病院に行った情報程度を書き、必要書類を添えるだけで、その時にかかった病院代
と、医療手当て(一月35800円〜37800円月を跨いだ場合2ヶ月分)を受け取ることが出来
ます。

その他、障害年金、死亡一時金、葬祭料の請求も、思っているより数居は低いです。

まず、自治体へご相談！

死亡一時金 4530 万円、障害年金 1 級 5,175,600 円、
医療手当通院 3 日未満 35,800 円(月額)など各種あり

申請を出すのに何十枚も書類を書くことはありません。

申請を出すのに **2〜3**枚書くだけです。

QRコードから予防接種後健康被害救済制度の説明と書き方へ

こちらでは必要書類ダウンロード、必要書類見本ダウンロード、

書き方を動画で説明など、予防接種健康被害救済制度を使い

たい方への支援のページにつながります。

詳細 ↓



長嶋宛メール
Kamakurasi
@gmail.com



富貴を望まず

我人に媚びず

◆鎌倉市議会議員 長嶋竜弘

159号4期目26号(10月号)



←9月18日ブログ
XBB ワクチン情報を掲載。
この mRNA ワクチンがいか
に問題あるかわかります。

政府の御用学者ではなく、良識ある専門家の
学術的な論文・見解を見て下さい。

◆新型コロナワクチンが歴史上最大の薬害に！



予防接種健康被害救済制度

データ元：厚生労働省

これまでの全てのワクチン (期間：1977年2月〜2021年12月) **3,522 件認定**

新型コロナワクチン (期間：2021年2月〜) **4,276 件認定**
2023年9月15日公表分まで

予防接種健康被害救済制度 **死亡認定数**

※新型コロナワクチンを除く
これまでの全てのワクチン (期間：1977年2月〜2021年12月) **151 件**

新型コロナワクチン (期間：2021年2月〜) **219 件**
2023年9月15日公表分まで

【参考】新型コロナワクチン「死亡」の申請 **741 件**
2023年5月24日時点 橋井人文弁護士の厚生労働省への開示請求で判明

1977年から始まった制度
過去 44 年間全てのワクチン被
害累計数を、新型コロナワクチ
ンが2年半で越えた。

インフルエンザワクチンの過去認
定数→191件・内死亡者 25 件

全国有志医師の会藤沢先生より画像拝借

長引く症状に 悩まされていませんか？

新型コロナワクチン接種後に後遺症の症状を訴える方が急増しています。
ワクチン接種後からの長期的な体調不良を「ワクチン後遺症」と呼んでいます。
病院で検査しても異常がない、ワクチン後遺症だと診断されない場合もあります。

接種後に体調不良が続く場合は、ワクチン後遺症の可能性を疑いましょう。

【新型コロナワクチン後遺症の代表的な症状】



ワクチン後遺症は、軽度なものから重篤なものまで多岐に渡ります。
 接種後、数ヶ月～1年以上経過してから発症する可能性もあります。

ワクチン後遺症の情報を知りましょう！

「全国有志医師の会」サイトにワクチン後遺症に関する情報や治療に対応する病院の紹介をしています。



新型コロナワクチン後遺症 患者の会

ワクチン後遺症患者が一丸となり、治療方法が確立されていない現状の改善や社会的補償・治療費の救済等を求めて活動をしている団体です。



行政のワクチン接種記録の保存期間は最低5年です

「予防接種健康被害救済制度」への申請に備えましょう

万が一、ご自身やご家族が発症した時の申請のために書類の保管が必要です。

● **ワクチン接種証明書の保管** ● **必要な書類の保管、体調の変化の記録**

※ワクチン接種証明書を紛失された方はお住まいの自治体で記録保管期間内に再発行の手続きができます。

体調不良の原因がワクチンと疑わしい場合は申請をしましょう



新型コロナワクチン接種事業の中止、ワクチン被害者の救済を目指す医師・医療従事者の非営利団体

医師428人・歯科医師174人・獣医師73人・その他の医療従事者809人 合計1484人 (2023年5月1日現在)

全国有志医師の会は、新型コロナワクチン接種事業の即時中止を政府に強く求めて活動をしている有志医師及び医療従事者の団体です。海外の医師たちとも連携をとり、ワクチン後遺症の治療法の研究を重ね、後遺症患者の治療にあたりながら、被害者の救済を目指しています。



日本国内においてコロナワクチン接種後、急に発症するなど、医学学会で報告や検討された疾患
 (2021年12月～2023年9月)

全国有志医師の会ホームページから <https://vmed.jp/2665/>

心臓の病気	心筋炎(複数)、心膜炎(複数)、完全房室ブロック、心筋梗塞、Brugada症候群、心房細動、致死性不整脈、冠動脈瘤、Valsalva動脈瘤、心タンポナーデ
腎臓の病気	肉眼的血尿(複数)、腎炎(複数)、IgA腎症(多数)、ネフローゼ症候群(複数)、ループス腎炎(複数)、腎硬化症、多発血管炎、間質性腎炎(複数)
甲状腺の病気	亜急性甲状腺炎(複数)、甲状腺クリーゼ(複数)、バセドウ病(複数)、破壊性甲状腺炎(複数)、慢性甲状腺炎
糖尿病	1型糖尿病発症(複数)、糖尿病性ケトアシドーシス(複数)
肝臓の病気	自己免疫性肝炎(複数)、急性B型肝炎、昏睡型急性肝不全、薬物性肝障害
皮膚の病気	帯状疱疹(多数)、円形脱毛症増悪(複数)、皮膚筋炎(複数)、好中球性紅斑、全身性膿疱性乾癬(複数)、遷延性掻痒性紅斑、膿疱性乾癬、扁平苔癬、扁平苔癬、好酸球性蜂窩織炎、全身性強皮症、急性汎発性発疹性膿疱症
目の病気	ぶどう膜炎、視神経炎、硝子体出血、多発消失性白点症候群、網膜分枝静脈閉塞症、網膜血管閉塞、網膜外層障害、ヘルペス角膜炎、Valsalva網膜炎、AMN、網膜色素上皮炎、眼球運動障害(複数)、網脈絡膜循環障害
血液の病気	発作性血色素尿症(複数)、血小板減少性紫斑病(複数)、血球貪食症候群(複数)、後天性血友病、自己免疫性血液凝固異常症、血小板減少を伴う血栓症、自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、血小板減少、重症自己免疫性第XIII/13因子欠乏症、重症溶血性貧血、メントレキセート関連リンパ増殖性疾患、発作性寒冷ヘモグロビン尿症 von Willebrand症候群
血管の病気	血管炎(複数)、IgA血管炎(複数)、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(複数)、ANCA関連疾患(多数)、動脈中膜融解症、高安動脈炎、大動脈炎症候群、下肢広範深部静脈血栓症、血管炎による多臓器出血、解離性動脈瘤破裂、静脈洞血栓症、硬膜動静脈瘻、皮膚血管炎、
神経の病気	顔面神経麻痺(複数)、ギラン・バレー症候群(複数)、脱髄性多発神経炎(複数)、脊髄炎(複数)、痛覚変調性疼痛、一過性全健忘、周期性四肢麻痺、悪性症候群、声帯機能障害、解離性神経症状、感音難聴、脱髄性ニューロパチー、感音難聴、脳炎、てんかん発作前骨間神経麻痺、後骨間神経麻痺
全身の病気	サルコイドーシス(複数)、全身エリテマトーデス(複数)、多発性筋炎(複数)、多臓器出血、アナフィラキシー、TAFRO症候群、小児多系統炎症性症候群、IgG4関連疾患(複数)、成人発症Still病
脳の病気	下垂体炎(複数)、ACTH単独欠損症(複数)、帯状疱疹ウイルス脳炎(複数)、くも膜下出血(複数)、脳梗塞(小児)、脳動脈瘤破裂、脳炎、脳出血、下垂体卒中、中枢性尿崩症、脳梁病変、自己免疫脳炎・脳症、脳脊髄炎
肺の病気	胸膜炎、肺胞障害、肺塞栓症、呼吸窮迫症候群、肺出血、肺塞栓症、血栓塞栓性肺高血圧症、間質性肺炎
副腎の病気	副腎不全(複数)、副腎機能低下症(複数)、副腎クリーゼ
リンパ節 リンパ腫	反応性リンパ節腫大、TAFRO症候群、悪性リンパ腫
消化管の病気	潰瘍性大腸炎(複数)、重症腸炎
他	筋炎(複数)、リウマチ(多数)、多発関節炎(複数)、多発筋痛症、壊死性ミオパチー、RS3PE症候群、群発頭痛、横紋筋融解症

